

1 次の を適当にうめなさい。

(1) $\frac{7x-1}{3} - \frac{5x-2}{6} - \frac{x-2}{5} = \text{$

(2) $x^4y^8z \div (-2x^2y^3)^3 \div \left(\frac{z}{xy}\right)^2 = \text{$

(3) $(\sqrt{12} + \sqrt{20}) \left(\frac{6}{\sqrt{3}} - \frac{10}{\sqrt{5}}\right) = \text{$

(4) 2次方程式 $\sqrt{2}x^2 - x - \sqrt{2} = 0$ を解くと、 $x = \text{$ である。

(5) x を超えない最大の整数を $[x]$ と表す。例えば、 $[3.14] = 3$ である。
 $a = [\sqrt{5}]$, $b = \sqrt{5} - a$ のとき、 $a^5 + a^4b - a^3b^2 - a^2b^3$ の値を求めると
 である。

(6) 関数 $y = ax^2$ において、 x の変域が $-2 \leq x \leq 1$ のとき、 y の変域は
 $-9 \leq y \leq 0$ である。このとき、 $a = \text{$ である。

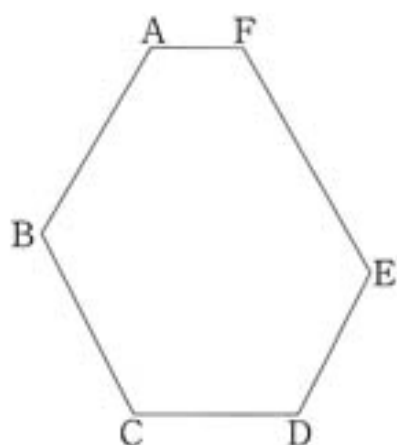
(7) 20 人の生徒に 10 点満点のテストを実施した。下の表は、5 点の生徒と 10 点の生徒を除いた、得点とその人数を表したものである。

得点 (点)	0	1	2	3	4	6	7	8	9
人数 (人)	0	0	0	0	0	3	5	3	3

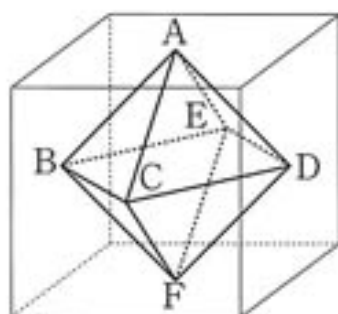
ここで、10 点の生徒の人数は 5 点の生徒の人数のちょうど 2 倍である。
 このとき、20 人の生徒の得点の中央値は ア 点で、最頻値は イ 点である。

(8) 100 円硬貨 1 枚、50 円硬貨 2 枚、10 円硬貨 2 枚を使って支払える金額は
 通りある。ただし、「支払い」とは、使わない硬貨があってもよいものとし、
 金額が 1 円以上の場合とする。

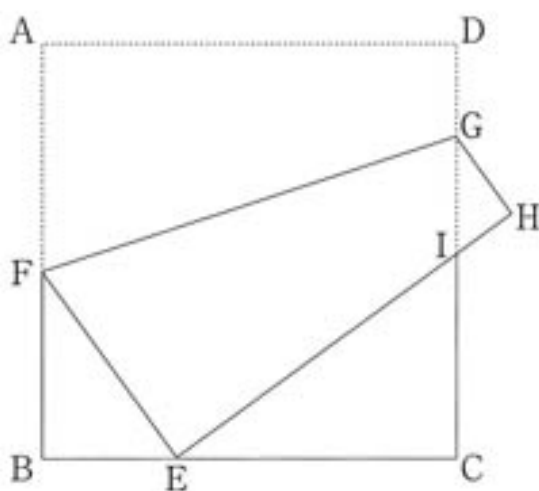
- (9) 図のような、6つの内角の大きさがすべて等しく、周の長さが39の六角形 ABCDEF がある。 $AB = 8$, $BC = 7$, $CD = 6$ のとき、 $EF = \square$ となる。



- (10) 図のような、1辺の長さが2の立方体がある。この立方体の6つの面において、各面の対角線の交点を A, B, C, D, E, F とする。A, B, C, D, E, F を頂点とする立体の体積は \square である。



- 2 図のように、1辺が9の正方形ABCDの辺BC上に $BE = 3$ となるように点Eをとり、頂点Aが点Eに重なるように折る。折り目をFGとし、頂点Dが移った点をHとする。EHとGCの交わる点をIとすると、次の問いに答えなさい。

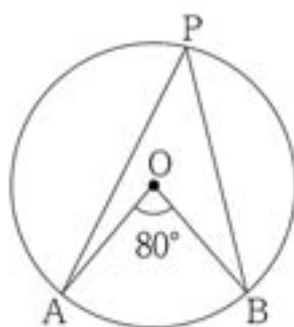


- (1) EFの長さを求めなさい。
- (2) CIの長さを求めなさい。
- (3) GIの長さを求めなさい。
- (4) GFの長さを求めなさい。

- 3 円周角の定理を学習した太郎さんと花子さんが、先生と話をしています。ア、ウ～ク の空欄に適する値を答えなさい。ただし、キ と ク の解答の順序は問わない。また、イ は選択肢から適する番号を選んで答えなさい。

<問1>

図のように、O を中心とする円の周上に3点 A, B, P がある。∠APB の大きさを求めなさい。



太郎：円周角の定理を使えるよね。

花子：そうすると、<問1>の答えは、∠APB = ア °になるね。

太郎：円周角の定理を使ったおもしろい問題はないかな？
先生に聞いてみよう。

先生：それならいい問題がありますよ。<問2>なんかどうでしょう？

<問2>

図のように、2点 $A(0, 1)$ 、 $B(0, 11)$ がある。 x 軸上に点 $P(p, 0)$ を $\angle APB = 30^\circ$ となるようにとる。このとき、 p の値をすべて求めなさい。ただし、 $p > 0$ とする。



花 子：円周角の定理を使うにはどうしたらいいかな？

太 郎： 円が描けたとしたらどうなるかな？

花 子：そうね、 $\angle APB = 30^\circ$ だから、 円の中心を C として、円周角の定理を使うと、 $\angle ACB =$ $^\circ$ となるね。

太 郎：ということは、 $\triangle ABC$ の形状に注目すれば、 C の座標は (,) となるのか！

花 子：それと、 CP の長さは になるね。

太 郎：あっ、そうすると p の値は と ですね。
先生、これはおもしろい問題ですね。

先 生：そうですね！

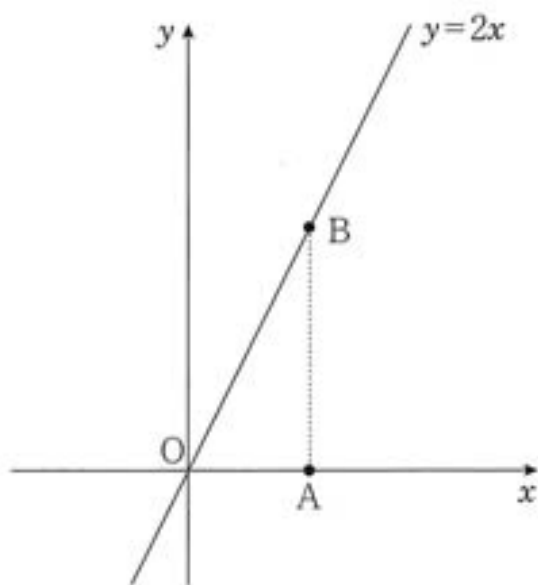
< の選択肢 >

- ① 3点 O 、 A 、 P を通る ② 3点 O 、 B 、 P を通る ③ 3点 A 、 B 、 P を通る

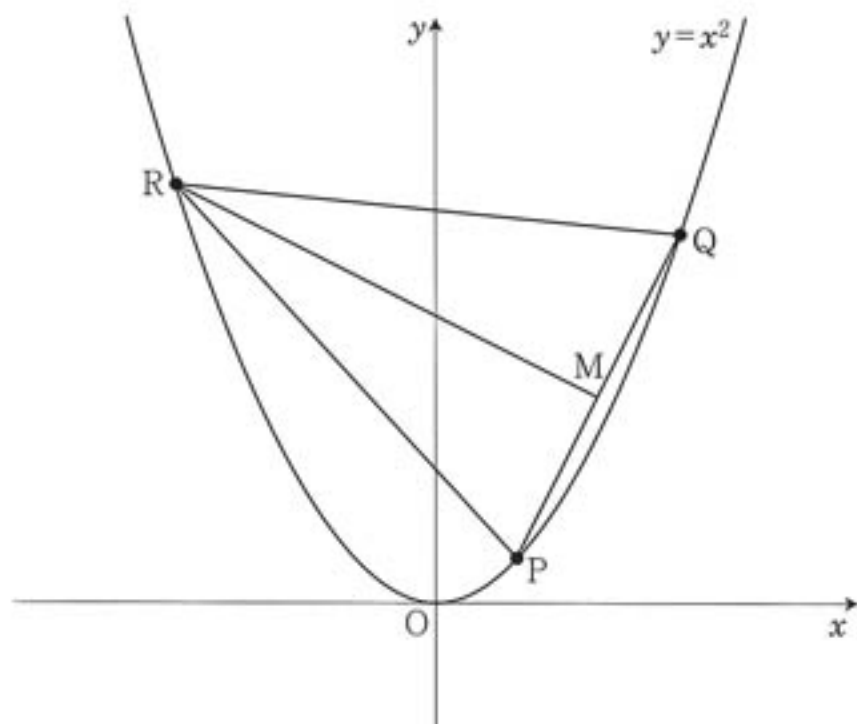
4

[1] 次の問いに答えなさい。

- (1) 異なる2点 (p, p^2) , (q, q^2) を通る直線の傾きを p, q を用いて表しなさい。
- (2) 図のように、直線 $y = 2x$, 2点 $A(1, 0)$, $B(1, b)$ がある。Oは原点、点Bは直線 $y = 2x$ 上の点である。
- ① b の値を求めなさい。
 - ② OB の長さを求めなさい。



- [2] 図のように、放物線 $y = x^2$ 上に3点 P, Q, R がある。 P, Q, R の x 座標をそれぞれ p, q, r ($r < p < q$) とする。 $\triangle PQR$ は $RP = RQ, PQ = \sqrt{5}$ の二等辺三角形であり、直線 PQ の傾きは2である。また、 PQ の中点を M とすると、直線 MR の傾きは $-\frac{1}{2}$ である。次の問いに答えなさい。ただし、(3) は途中過程を記しなさい。



- (1) $q - p$ の値を求めなさい。
- (2) q の値を求めなさい。
- (3) r の値を求めなさい。

数学解答用紙

1	(1)	(2)	(3)	得点 ※ 40
	$\frac{13x+4}{10}$	$-\frac{8}{8z}$	-8	
	(4)	(5)	(6)	
	$\sqrt{2}, -\frac{\sqrt{2}}{2}$	$80-20\sqrt{5}$	$-\frac{9}{4}$	
	(7)	(8)		
	7.5	7	14	
	(9)	(10)		
	10	$\frac{4}{3}$		

2	(1)	(2)	得点 ※ 16
	5	$\frac{9}{2}$	
	(3)	(4)	
	$\frac{5}{2}$	$3\sqrt{10}$	

3	ア	イ	ウ	エ	オ	得点 ※ 22
	40	③	60	$5\sqrt{3}$	6	
	カ	キ	ク			
	10	$5\sqrt{3}-8$	$5\sqrt{3}+8$			

キク 順不同

1	(1)	(2)①	(2)②	得点 ※ 15
	$p+q$	2	$\sqrt{5}$	
2	(1)	(2)		得点 ※ 7
	1	$\frac{3}{2}$		
4	(3)			得点 ※
	(2)より $P(\frac{1}{2}, \frac{1}{4}), Q(\frac{3}{2}, \frac{9}{4})$ による。 $M(1, \frac{5}{4})$ とする。			
	よって直線MRの傾きは $-\frac{1}{2}$ である。			
	$\frac{r^2 - \frac{5}{4}}{r-1} = -\frac{1}{2}$			
	よって $4r^2 + 2r - 7 = 0$			
	よって解く $r = \frac{-1 \pm \sqrt{29}}{4}$			
	$r < \frac{1}{2}$ による $r = \frac{-1 - \sqrt{29}}{4}$			

受験番号	氏名
	模範解答

得点
※ 100